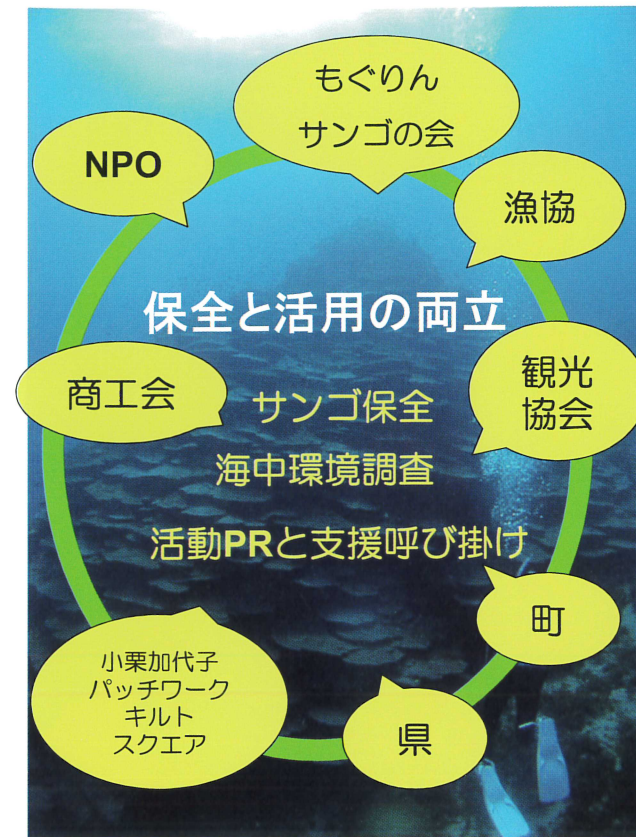




千年サンゴと生きるまちづくり協議会



駆除活動

駆除生物の有効活用



地域活性

千年サンゴと生きるまちづくり協議会は、平成23年7月15日に地域の住民や団体、行政等が協働して千年サンゴを守る活動をすすめながら、豊かな自然を活かし、地域活性につなげることを目的に設立されました。保全活動や地域づくり、PR活動を行っています。

みなさんがいっしょに取り組んでこそ「サンゴもまちも元気になる」ことができます。ぜひ協議会の活動にご協力ください。

継続的に保全活動を実施する必要があることから、協議会では、活動経費を支援していただける方(サポーター)を募集しています。

協議会へのお問い合わせ

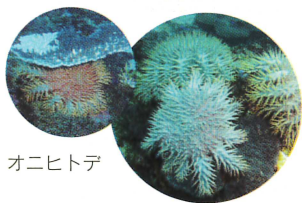
事務局 〒774-0011 徳島県阿南市領家町野神319
 徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部(阿南) 環境担当
 TEL:0884-28-9858

千年サンゴを守りましょう

～オニヒトデ・サンゴ食巻き貝による被害～

近年、海水温の上昇から、以前まで繁殖する事ができなかった生物が「通年生育出来る環境」になってきています。なかでもサンゴを食べるオニヒトデが、急激に増え始め、大島周辺のサンゴに大きな被害をもたらしています。オニヒトデは、サンゴを食べる動物です。

さらにサンゴ食巻き貝も増えはじめ、白骨化するケースが多くなっています。



オニヒトデ

オニヒトデとは？

全身が有毒のトゲで覆われているヒトデです。オニヒトデは、サンゴにおおいかぶさり、口から胃を反転させて外に出し、消化液を分泌してサンゴの軟体組織を溶かして吸収します。

～なぜ、サンゴを保護しなければいけないの？～

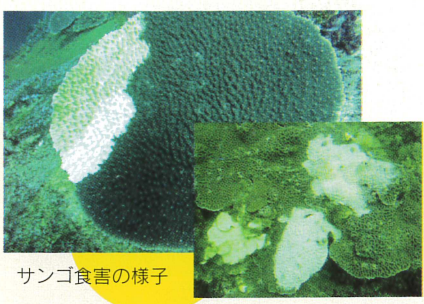
サンゴのすき間は、小さな生物の隠れ場所として都合がよいので、サンゴの周りには、スズメダイなどの小さな魚類や、エビ、カニなどの甲殻類、タコやナマコなど多種多様の多くの生物が生息しており、さらに、これらを補食する大型の魚なども集まってきます。

サンゴを守ることは、海の生き物を保護することになります。

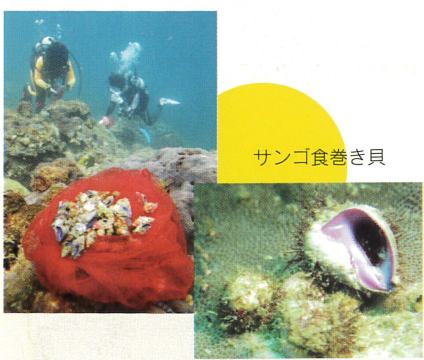
～千年サンゴを守ろう～

牟岐大島に生息する千年サンゴは、日本最大級、最長寿と推定され、希少価値があります。この貴重な自然財産を守るため、協議会では、地元ダイバー等の協力を得ながら、オニヒトデやサンゴ食巻き貝の駆除活動を行っています。

あなたも一緒に、この貴重なサンゴと豊かな海を守りましょう！



サンゴ食害の様子



サンゴ食巻き貝



四国のサンゴ 千年サンゴの仲間たち

① 大島

高さ約9mはある千年サンゴなど大型のハマサンゴがある。

② 竹ヶ島

被覆状や塊状サンゴが多く、外洋側は卓状ミドリイシ類もある。

③ 甲浦

海岸堤上に多様なサンゴが分布する。

④ 椎名

内湾にハマサンゴ類が優占する特殊なサンゴ群集が分布する。

⑤ 海浜センター

エダミドリイシやカワラサンゴなど内湾性のサンゴが多い。

⑥ 沖の離岸堤

浅場では卓状ミドリイシが多く、深場では被覆状サンゴが多い。

⑦ 大手の浜

外洋側に卓状ミドリイシ類が多い。

⑧ 桂浜

消波ブロック上にサンゴが群生。分布密度は低いが、18種のサンゴが分布する。

⑨ 久礼

⑨ 沖の土佐湾西部では、低水温やオニヒトデの影響でサンゴが減少、オニヒトデの発生が継続中。

⑩ 志和

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑪ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑫ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑬ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑭ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑮ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑯ 佐賀

消波ブロック上にサンゴが群生。

⑰ 大月西岸

巨大なタイハイミドリイシの群生。

⑱ 大月南岸

巨大なハナカタサンゴの群生。

⑲ 横島

枝状ミドリイシ類が優占する群集。

⑳ 須ノ川

世界最北のヒメエダミドリイシ群集。

㉑ 戸島

枝状と卓状ミドリイシ類が混成。

㉒ 大島

海草が多く、サンゴは局所的に分布。

写真提供：公益財団法人黒潮生物研究所

黒潮生物研究所

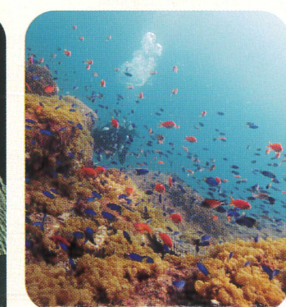
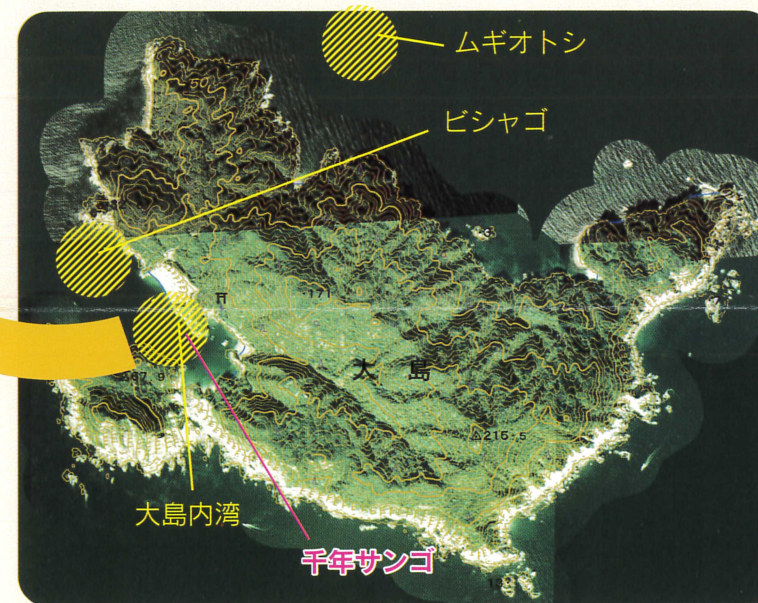
千年サンゴのふるさと 大島

大島周辺の海の中って こんなところ！

大島のある海部沿岸では、黒潮由来の暖かい水が高知県の室戸岬や和歌山県の紀伊半島側から流入します。
また、吉野川や那賀川などの大規模河川がつながる紀伊水道から、栄養分の豊かな水が流れ出てきます。
海潮流、水温、島という条件が重なることにより豊かな海となっており、「四国のガラパゴス」とも言えます。
千年サンゴをはじめ、サンゴ全般は、小さな生物や幼魚の住み家となっており、様々な生態系をつくっています。



牟岐大島内湾



キンギョハナダイ、ソラスズメダイ



カゴカキダイ



ツノダシ



アオウミガメ



ウデフリツノサヤ
ウミウシ



イサキ



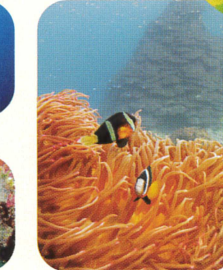
ハナミノカサゴ



ニタリ



クダゴンベ



クマノミ



これが千年サンゴ！

高さ：約9m／外周：約30m

牟岐大島内湾に生息する巨大なコブハマサンゴは、「千年サンゴ」の愛称と呼ばれ、水深23mの海底に根を張り、クリスマスツリーのような格好でたっています。その高さは、約9m、外周約30m、年齢は1,000年をはるかに越えると推定されており、日本最大級、最長寿の可能性がありま。

コブハマサンゴは、造礁サンゴの種類で、塊状で丸いドーム型に成長することが多いのですが、千年サンゴは、クリスマスツリー形のめずらしい形に成長しています。



サンゴは生きもの？

サンゴは動物です。クラゲやイソギンチャクと同じ仲間、刺胞動物（口があって肛門がない袋状の体制）とよばれています。

サンゴの体は、「ポリプ」と呼ばれ、イソギンチャクと似た体のつくりをしています。ポリプがたくさん集まって全体をつくっています。

ポリプの体内に褐虫藻といわれる単細胞藻類を共生させ、光合成産物を分けてもらっています。

サンゴはどんなところにすんでいるの？

水深30mぐらいまでの浅い海にすんでいます。

親戚関係の宝石サンゴとの違いは？

宝石として珍重されている宝石サンゴは、褐虫藻と共生せず、水深100mを超える深い海にすんでいます。

大島周辺で見られるサンゴの種類

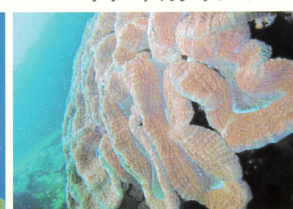
◀イボヤギ

▼ハナガササンゴ属

▼オオハナガタサンゴ

▼エンタクミドリイシ

▼スリパチサンゴ



千年サンゴ周辺の環境調査に取り組んでいます

サンゴ食害生物を駆除するだけではなく、千年サンゴをここまで守り育てた海の環境を調べることもサンゴを守り、生物多様性を守ることに繋がります。平成26年からは千年サンゴ周辺において小型のサンゴの生育状況や、海藻の種類などの経年的な変化を調査しています。

